



エプリネックストピカル キャンペーン 第6弾



動物用医薬品 牛用 エプリノメクチン製剤

エプリネックス[®]トピカル

Eprinex[®] Topical

(eprinomectin)



キャンペーン期間
2022年
10月3日(月)~
11月30日(水)迄

生産性の
向上!!

ストレスの
軽減!!

製品名	規格	通常価格
エプリネックストピカル	1L	34,320
エプリネックストピカル	2.5L	80,520
エプリネックストピカル	5L	152,680



キャンペーン価格

34,100

220円お得!

70,400

10,120円お得!

132,550

20,130円お得!

※ 金額は全て税込表示です。

ご購入 2大特典 プレゼント



『ウェットピア』(50枚入り)を
1つプレゼント!

『ダークブルーニトリルグローブ』
(100枚入)を1箱プレゼント!
(XS・S・M・Lサイズより選択)

駆虫は必須です

ダニやシラミなど体の表面に寄生する外部寄生虫は、かゆみや痛みなどのストレスの元になります。

胃や腸に寄生する消化管内線虫は、栄養分の横取りをするだけでなく、食欲そのものも減退させます。

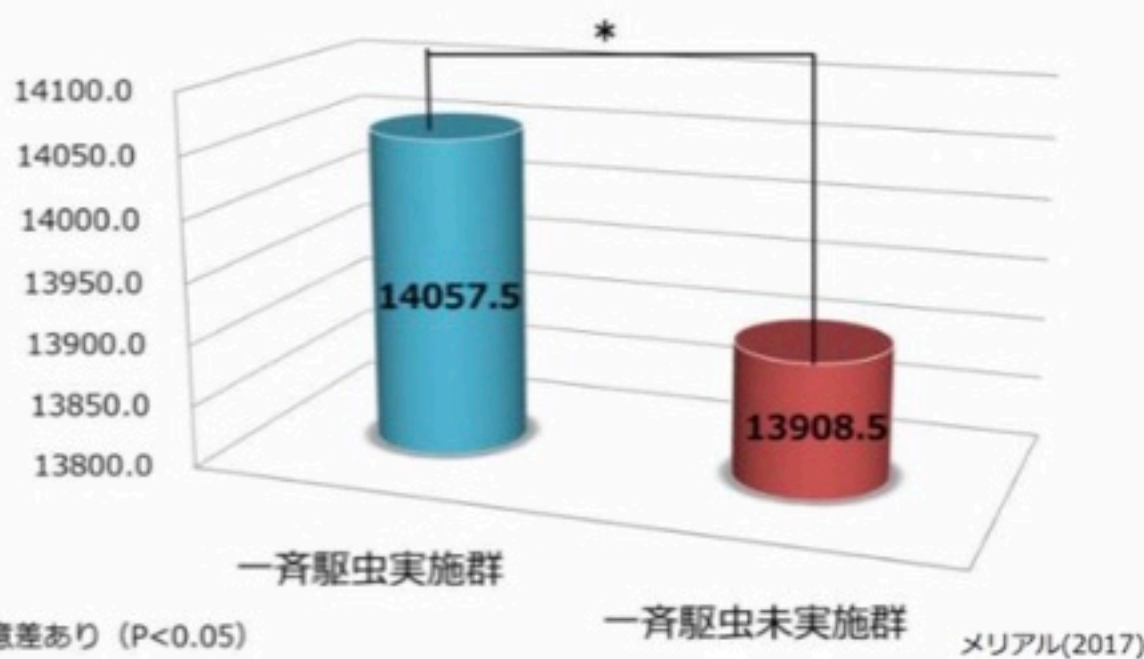
駆虫をすることによって、牛はストレスから解放され、増体・繁殖成績・生産成績が向上したという報告がいくつもあります。

放牧をしている牛はもちろん、舎飼いの牛であっても寄生虫感染は頻繁に見られます。

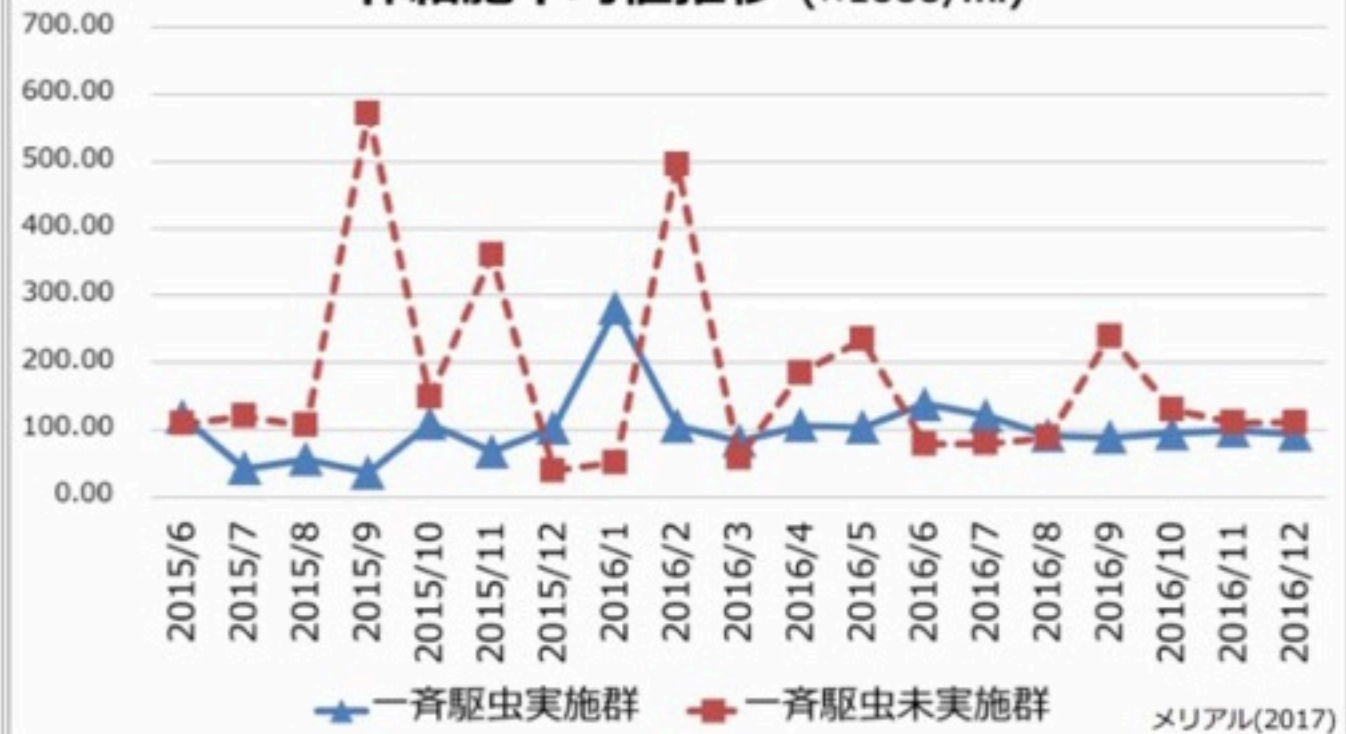
適切に駆虫を実施し、牛を健康に育てましょう。

北海道の高泌乳牛群における駆虫後の成績

補正乳量平均値 (kg) 2015年5月~2016年12月



体細胞平均値推移 (×1000/ml)



エプリネックス®トピカルにて一斉駆虫を年2回(5月、11月)実施した一斉駆虫実施群と実施していない一斉駆虫未実施群の牛群検定成績を比較したところ、実施群において補正乳量が有意に高かった。

また、平均体細胞数は、実施群では各月のばらつきが少なく、安定して推移していた。

飼育している牛群に対して、

年2回※の一斉投薬による駆虫の実施が効果的です

(※春と秋 または 夏と冬 など)

駆虫薬	使用禁止期間
エプリネックス®トピカル 主成分：エプリノメクチン	乳に関する使用禁止期間はないため、搾乳牛に対して安心して使用できます 食用に供するためにと殺する前20日間は使用禁止です
アイボメックトピカル® 主成分：イベルメクチン	搾乳牛と分娩予定日前28日間の乳牛には使用できません 食用に供するためにと殺する前37日間は使用禁止です

両剤ともに経皮吸収外用剤。体重10kgあたり1mlを背線部のき甲から尾根にかけて直線的に注ぐ。

®エプリネックス、アイボメックトピカルはメリアルの登録商標